

素顔拝見



歯科放射線科

小林 太一

2019年4月1日付で歯科放射線科の助教を拝命いたしました小林太一（こばやし たいち）と申します。このたび「素顔拝見」執筆の機会をいただきましたので、この場をお借りして自己紹介をさせていただきます。

出身は新潟県の斜め下、長野県の県庁所在地、善光寺が全国的に有名な長野市です。ほかに有名なものある？と言われたら困りますが。そんな長野市から新潟大学歯学部歯学科に42期生として入学しました。在学中の6年間は軽音楽部LIARSでドラムばかり叩いていたような気がします。当時は歯学部講堂で楽器の演奏が可能(?)でしたので、時間を見つけてはアンプだのドラムセットだのを準備して遊んでいました。遊びすぎたせいかどうかは定かではありませんが、卒業後は東京で1年間のモラトリウムを挟みつつ2度の国家試験を経て卒後研修へとたどり着きました。得難い経験ではありましたがなるべくならば得ないほうが良い経験でもあります。研修修了後は大学院生として顎顔面放射線学分野に入局し、大学院博士課程修了後も所属させていただいております。

趣味というほどではないですが、こここのところ夜に海外ドラマを見るのが日課のようになって

しまいました。以前はBS頼りでしたが、Amazon Primeのおかげで今これを書きながらBGM代わりに流しています。字幕なら格好もつくのですがさすがに日本語吹き替えです。一話完結の警察モノや推理モノがちょうどいい感じで視聴できるので好みます。

さて真面目な話もしなくては。大学院では口腔内超音波検査を中心とした超音波検査をテーマとして研究を行いました。超音波といえばお腹の中の赤ちゃんをみるアレ、の人も多いですが、歯科領域でも活躍しています。深部病変をリアルタイムで描出して診断していくことは難しいですが、それゆえに興味深い領域でもあります。

臨床では超音波に限らず単純撮影、CT、MRI、CBCTと医歯学総合病院ならではの多種多様なモダリティに対する読影を行っています。画像ばかり見ていると思われがちなところもありますが、外来では放射線治療前の口腔ケア・マウスピースの作成にも関わらせていただいています。いずれもまだまだ勉強することは多いですが充実した日々を過ごしています。また新たに教員という立場になりましたので、ちょこっと遠回りした経験を踏まえつつ、やたらと苦手意識を持たれがちな歯科放射線学の楽しさを学生に伝えていければと思っております。

最後に、未熟者ではございますが歯学部の発展に貢献できるように精一杯務めさせていただきますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願います。



歯科麻酔科

金丸 博子

2019年10月1日付で歯科麻酔科の助教を拝命しました金丸博子と申します。よく質問を受けますが「かなまる」ではなく「かねまる」です。

私は新潟市の出身です。兄と弟がおり、世間一般に中間子は自由奔放と言われていましてできっとそうなのでしょう。入局してから今まで何度も「男らしい!」という褒め言葉を頂いておりますので、「男は愛嬌、女は度胸」という母の方針に見事に沿って育ったものと推察されます。

新潟大学歯学部との付き合いは非常に長く、出会いは30年以上前の小学校1年生、競泳大会のプールサイドではしゃぎ、萌出中の左上1を破折したところから小児歯科・矯正科・口腔外科と長きに渡り色々な先生にお世話になりました。入試の面接では今は亡き小児歯科の主治医本人にそのエピソードを語る事になりましたが、無事に合格を頂き、良い同期に恵まれて楽しい学生生活を送りました。歯学部卒業の頃はいわゆる歯科医として活躍する自分を思い描いていたような気がするのですが、縁あって歯科麻酔科に入局致しました。入局当時「あの子、麻酔科に入ったの?普通だと思ってたら変わってる子だったんだ?って某先生(他科)が言ってたよ」と同期から言われ、その頃自分は普通だと信じていましたので「どういうこと?麻酔科みんな普通の人たちだよ」と答え

たのですが、今ならきっと「確かに変人の集まりかもしれないね」と答えると思います。入局した頃に麻酔を担当させて頂いた赤ちゃんがもう腸骨移植だなんて、自分も年とったわ、と思っていた日々もすっかり過去の事となってしまいました。が、上級医はもちろんのこと、若手の大学院生、そして患者さんから学ぶ事はまだまだ尽きません。永遠の18歳!と手術前に上司とふざけるのも痛々しいお年頃になりましたが、初心を忘れず日々精進して参りたいと思っております。

私生活では3匹の小鬼たちを追いかけ、朝・夕と時間に追われる毎日です。家の中は帰宅後数分でカオス化し、仲良く遊び始めたと思った数秒後に喧嘩が始まり、私の怒り声が響く中、歩き始めのもう一人が転んで号泣…と本当に賑やか、というか近所迷惑以外の何物でもありません。作品という名前のついた捨てられないゴミが散乱している我が家についため息が出ますが、両家の遺伝子を感じる寝顔が3つ並んでいるのはやはり可愛いものです。小鬼たちとの生活はイレギュラーの連続で飽きませんが、おかげさまで公私ともに全く計画通りに物事が進みません。なかなか一つの事にじっくり取り組む事が難しい現状にもどかしさを感じる場面も多いですが“一つ百点を取る事はもちろん素晴らしいけど、満遍なく合格点を取るスキルも大事だよ”という亡き父の言葉が、今になってしっかりと理解できるような気がします。この素顔拝見の執筆時間もなかなか捻出できず、ついに締切が明日に迫ってしまいました。そんな訳で推敲できず、拙文となりますが、これが素顔という事で許して頂こうと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。